最高裁判所でも Teamsが活用されています





ついに霞ヶ関にもマイクロソフトのクラウドが!

日本政府が「クラウド・バイ・デフォルト原則」を打ち出してから 公共市場のクラウド化が急速に進んでいます!



裁判のIT化 ①

e提出

(e-Filing)



訴状、答弁書、準備書面等の裁判書類及び証拠を電磁情報でオンラインe提出(e-Filing)

裁判のIT化②

e法廷

(e-Count)



口頭弁論期日、弁論準備手続き期日などの 裁判手続きを当事者等の裁判所への出頭 に変えてテレビ会議やWeb会議を活用 するe提出(e-Count)

裁判のIT化③

e事件管理

(e-Case Management)



情報につき、訴訟当事者本人及び訴訟代理人の双方が、随時かつ容易に、訴状、答弁書その他の準備書面や証拠等の電子情報にオンラインでアクセスできるe事件管理(e-Case Management)



先行している国々では?

アメリカでは、1990年代前半から e-Filing への取り組みが始まっており、2002年からは州によって対象事件、システムは異なるが地方裁判所に対する事件の申立て・書面の提供を電子的に行うことができるようになっています。

アジアでは、シンガポールで2013年から裁判所と弁護士間のメール連絡、ビデオ会議など民事訴訟全般が電子化されています。

次世代コミュニケーション基盤の主な機能情報

・・・・・ チームの作成

┋┋ メンバーの招待※1

₩ ファイル共有

チーム内のタスク管理

チーム内チャット

Web会議

📭 スマホからのIP電話



監査ログアクセス管理

※1:外部ドメインのユーザー含む (管理側の設定により異なります)

活用イメージ

チームメンバーを招集し、タスク(チャンネル)を作成すればタスク毎にチャット、ファイル共有、 Web会議/音声通話ができるので、円滑なコミュニケーションができます。



チームメンバーに所属しているユーザーは チーム内のすべての[チャネル]の情報共有



Microsoft Teams の買い方/利用できるライセンス

Microsoft Teamsは、以下の Office 365 スイートで利用可能です。

Business **Essentials**

Business Premium

F 1

F3

F5

- ※ Microsoft Teams の使用には、Microsoft Teams 以外のプロダクトである Exchange Online、SharePoint Online、OneDrive、Office Online が必要となるため、Microsoft Teams は、上に挙げたような Office 365 スイートの一部として提供されます。Microsoft Teams 単独での購入はできません。
- ※ Microsoft Teams の全ての機能を使うためには、すべてのユーザーで、 Exchange Online と SharePoint Online を有効化してください。

Businessチャットツールとして、しっかりログも収集できます

チームの作成、チームの削除、チャネルの追加、設定の変更、ファイルの操作ログ 監査ログ チームの操作ログ

ファイルとフォルダーに対する操作(表示、作成、変更、削除)など

会話内容

会話の内容はチームの会話内容はチームのメールボックスに保存

個人間のチャットの内容は個人のメールボックスに保存

[編集前の会話]と「削除した会話」の保持が必要な場合はインプレース保持が必要であり適切なライセンスが必要

ファイルコンテンツ

チームのチャンネル上でアップロードしたファイルは SharePoint サイト上に保存される

個人間でアップロードされたファイルは、アップロードをしたユーザーの OneDrive for Business 上に保存される

電子情報開示を利用して、会話内容および共有されたファイルの検索、エクスポートが可能

DiS ダイワボウ情報システム株式会社



韋駄天▶http://www.idaten.ne.jp 🍍

プランの詳細、お問い合わせはこちら



データ保持

ソフトウェア販売支援サイト▶マイクロソフト販売支援サイト